シラバス情報照会　照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード	4151230000	開講キャンパス	五橋
授業開講年度	2024年度		
科目コード	5102129919	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読Ａ		
科目英字名称	Reading of Original Texts A		
単位数	1.0		
履修期	前期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	1210659	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	坂内　昌徳		
テーマ	英語で書かれた入門書を読むことで第二言語習得研究についての基礎を学ぶ		
講義内容	我々が母語以外の言語（第二言語）を習得しようとする営みは、一般的には学校で学ぶ他の科目の知識を得ることと同様に見えるかもしれない。しかし、よく調べてみると第二言語習得には独特の現象が数多く見られ、単なる「学習」とは異なる認知プロセスであることがわかる。本購読では1960年代から最近までの研究を理解していくために、これまで主にこの分野の研究者たちが注目してきた問題について英語で読みながら、基礎を学ぶ。		
達成目標	１．言語学の専門書を辞書等を使いながら英語で読める。 ２．テキストを読んで理解したり疑問に思ったことを自分の言葉で表現できる。 ３．授業でとりあげた第二言語習得の現象について理解し、説明できる。		
授業計画 第１回	【事前学修】テキストp.1～4を熟読し不明な点や論点をまとめておく。 【授業内容】How do different languages connect in our minds? 【事後学修】p.1～4を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。		
授業計画 第２回	【事前学修】p.4～8を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、Characteristics of L2 users 【事後学修】p.4～8を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。		
授業計画 第３回	【事前学修】p.9～12を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表） What are L2 users like? 【事後学修】p.9～12を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。		
授業計画 第４回	【事前学修】p.13～16を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、Is there a best age for learning a second language? 【事後学修】p.13～16を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（１）として提出。		
授業計画 第５回	【事前学修】p.17～20を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）The word on the street: Popular		

	belief on age and second language learning 【事後学修】p.17～20を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第６回	【事前学修】p.21～24を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）The experience of immigrants: The research background 【事後学修】p.21～24を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第７回	【事前学修】p.25～28を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）The idea of 'critical period' 【事後学修】p.25～28を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第８回	【事前学修】p.29～32を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）The effects of early instruction in a second language 【事後学修】p.29～32を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第９回	【事前学修】p.33～36を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）Some concluding remarks 【事後学修】p.33～36を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第１０回	【事前学修】p.37～40を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）How do people acquire the words of a second language? 【事後学修】p.37～40を読んで理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第１１回	【事前学修】p.41～44を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）The lexical challenge in infancy ... and later 【事後学修】p.41～44を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（２）として提出。
授業計画 第１２回	【事前学修】p.45～48を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、Learning words one at a time 【事後学修】p.45～48を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第１３回	【事前学修】p.49～52を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、Learning words from context 【事後学修】p.49～52を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第１４回	【事前学修】p.53～56を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、Some concluding remarks 【事後学修】p.53～56を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。
授業計画 第１５回	【事前学修】p.57～60を熟読し不明な点や論点をまとめておく 【授業内容】前時のふりかえり（発表）、How important is grammar in acquiring and using a second language? 【事後学修】p.57～60を再読し、理解したことを自分の言葉でまとめる。あわせてここまでの内容をまとめてレポート（３）として提出。
授業計画 第１６回	
授業計画 第１７回	
授業計画 第１８回	
授業計画 第１９回	

授業計画 第２０回	
授業計画 第２１回	
授業計画 第２２回	
授業計画 第２３回	
授業計画 第２４回	
授業計画 第２５回	
授業計画 第２６回	
授業計画 第２７回	
授業計画 第２８回	
授業計画 第２９回	
授業計画 第３０回	
成績評価方法	成績評価には次の方法を用いる。（　　）内は各方法の①具体的内容、②達成目標との関連、③配点、④評価の観点・基準です。 (a) 予習ノート（①事前学修を「予習ノート」の形で提出：②達成目標との関連１：③２８点＝２点×１４：④語彙調べの綿密さ（５０％）、記述内容の適切さ（５０％） (b) 発表（①予習の内容を基に授業中に特定の文・段落の内容を説明：②達成目標との関連１、２：③３５点＝５点×7回：④内容の適切な理解（５０）、発表資料・説明方法の適切さ（５０％） (c) 「レポート」（①「ふりかえりでまとめた内容をレポート（Ａ４版５枚以内）として提出：②達成目標との関連３：③３７点＝１０点×３回×１．２３：④記述内容の適切さ（５０％）、分量の遵守（５０％）
学修に必要な準備	＊テキスト、ルーズリーフ式ノート、英和辞書
関連して受講することが望ましい科目	＊言語獲得論、言語習得論、言語基礎論ⅡＡ・Ｂ
テキスト	Cook, V. & Singleton, D. (2014). Key Topics in Second Language Acquisition. Multilingual Matters: Bristol, UK.
参考文献	＊授業中に適宜指示する。
履修上の注意	＊指定された範囲については必ず自分で熟読し、語彙や用語についてよく調べておくこと。事前学修の状況も成績評価の対象になります。 ＊授業実施時数の８０％以上の出席が単位修得の条件とする。 ＊オフィス・アワーは開講時に指示する。
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。【BYOD実施科目】

	【科目ナンバリング】A1-640-38-3R-3，A0-640-46-3R-3		
添付ファイル1		説明1	
添付ファイル2		説明2	
添付ファイル3		説明3	
添付ファイル4		説明4	
添付ファイル5		説明5	
関連URL1			
関連URL2			
関連URL3			

教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2024年度	前期授業	木曜２校時	前期授業	五）講）L708

カリキュラム情報

項番	学生区分　所属区分	学部　学科　専攻・コース	適用入学年度
1	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2016年度
2	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2015年度～2018年度
3	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2017年度～2018年度
4	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2019年度
5	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2019年度～2100年度
6	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科	2020年度～2100年度
7	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2016年度
8	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2015年度～2018年度
9	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2017年度～2018年度
10	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2019年度
11	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2019年度～2100年度
12	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　ドイツ語コース	2020年度～2100年度
13	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2016年度

14	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2015年度～2018年度
15	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2017年度～2018年度
16	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2019年度
17	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2019年度～2100年度
18	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　フランス語コース	2020年度～2100年度
19	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2016年度
20	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2015年度～2018年度
21	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2017年度～2018年度
22	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2019年度
23	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2019年度～2100年度
24	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　中国語コース	2020年度～2100年度
25	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2016年度
26	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2015年度～2018年度
27	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2017年度～2018年度
28	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2019年度
29	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2019年度～2100年度
30	学部生　学部生	教養学部　言語文化学科　韓国・朝鮮語コース	2020年度～2100年度

戻る(X)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.